

まちなか授業inGrandプラザに参加！



富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科では、地域と共に学ぶことの一環として、当学科の1年生を対象とした必修科目「都市と交通を支える建設技術の基礎知識」を、富山の中心市街地Grandプラザにおいてオープン・クラス(まちなか授業)として実施しています。講義には、都市・交通デザイン学科の教員以外に、社会の第一線で活躍するゲストも含めて登壇しています。

今回はその第9回目として、砂防に関する講義を富山県土木部砂防課の森田課長、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年6月22日(金) 13:15~14:45
場所：総曲輪Grandプラザ
内容：第9回『立山砂防と富山の土砂災害対策の最前線』
参加者：富山大学都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科1年生45名、一般聴講者



◆プログラム◆

- 講義1 「富山の砂防」
富山県土木部砂防課 森田 耕司 課長
- 講義2 「立山カルデラの砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長



講義1：森田 耕司 課長

○講義1

- ・土砂災害とは
- ・土砂災害の実態
- ・激化する理由
- ・富山県の土砂災害の状況
- ・ハード対策による土砂災害対策の推進
- ・ソフト対策による土砂災害対策の推進
- ・立山砂防の世界遺産登録に向けた取組



講義2：大坂 剛 事務所長

○講義2

- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年(1858)の大災害
- ・デレーケの河川改修(明治24~26年)
- ・直轄砂防事業(大正15年着手)
- ・白岩砂防堰堤(昭和14年完成)
- ・本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群 等
- ・工事の安全施工の推進、無人化施工
- ・ICT技術活用(UAV測量、情報化施工)



会場の様子



授業の様子



学生からの質問



一般の方からのコメント



久保田善明教授

質疑応答

- Q：情報通信技術の発展に伴い実施していることは？
A：ドローンで測量を実施、人工衛星の情報利用、鋼製堰堤 等
- Q：工事用軌道(トロッコ)を使い続ける理由は？
A：トロッコと車輛それぞれ利点があり、現場条件や輸送内容で使い分けている。また、トロッコは一般の方の見学にも使っている。